

一步

～未来の自分のために種をまこう～

学年通信
高美が丘中学校 第1学年
令和8年2月17日（火）発行

～春の足音が聞こえてきました～

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

はじめに、前回の発行から長い間、学年通信をお届けすることができず、申し訳ありませんでした。残りわずかとはいりましたが、生徒たちの学習活動をお伝えできるよう努めてまいります。

さて、令和8年もあっという間に2月を迎えました。連日厳しい寒さが続いています。今月6日に開幕したミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピックでは、連日熱い戦いが繰り広げられています。生徒にとっては年齢の近い10代の選手たちが、プレッシャーを跳ね除けて世界の大舞台で堂々と挑戦する姿が、部活動や日々の学習、そして進路に向き合う生徒たちにとって、大きな勇気と刺激になっていることでしょう。

～パラリンピアン 中西麻耶さんの講演会を開催しました～

2月6日（金）、パラ陸上の第一人者である中西麻耶選手をお招きし、キャリア講演会を開催しました。不慮の事故により、21歳で右足を切断するという決断をした中西選手。「自分の人生に責任を持つ」という覚悟で厳しいリハビリを乗り越え、陸上競技の世界トップへと駆け上がりました。「他人に自分の人生を決めさせないでほしい」。その力強い言葉に、生徒たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。学習や部活など、中学生は壁にぶつかることも多い時期です。しかし、中西選手から受け取った「決して諦めず前を向く力」は、生徒たちのこれからの人生を支える大きな力になったはず。ぜひご家庭でも話題にしてみてください。



生徒の感想

- ・自分と向き合い、たくさん考えることが大切だという事を学びました。
- ・いろんなことに前向きに挑戦して、結果を出して頑張りたい。
- ・他人の意見に流されずに自分の意見をもって生きることが大切だと学びました。
- ・夢や目標をかなえるためには勇気を出していろいろなことに挑戦することが大切だと学びました。

～職業調べを行っています～

後期から「総合的な学習の時間」において、キャリア教育（進路学習）の一環として「職業調べ」に取り組んでいます。生徒たちは、世の中にどのような仕事があるのか、どんな内容なのかなどを、図書やインターネットを活用して熱心に調べ新聞にまとめています。2月末にはポスターセッションを予定しており「働く」という事に対して自分事として学習に取り組んでいます。ぜひご家庭でも、保護者の皆様のお仕事のやりがいや経験談などについてお話しいただき、生徒たちの将来を考えるきっかけにいただければ幸いです。

【生徒の作品】

影で当たり前を作る インフラエンジニア

TOPIC インフラエンジニア5種類

ネットワークエンジニア 就職難易度 ★ 平均年収 42万6000円 キャリアアップの道が開ける	サーバーエンジニア 就職難易度 ★ 平均年収 42万6000円 キャリアアップの道が開ける
データベースエンジニア 就職難易度 ★ 平均年収 42万6000円 キャリアアップの道が開ける	セキュリティエンジニア 就職難易度 ★ 平均年収 42万6000円 キャリアアップの道が開ける
クラウドエンジニア 就職難易度 ★ 平均年収 42万6000円 キャリアアップの道が開ける	

インフラエンジニアは、普段から使っているサーバーやネットワークなどの設計・構築・運用・保守を担当するエンジニアたちのこと。インフラエンジニアは主に五つに分かれており、サーバーエンジニア、ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニア、データベースエンジニア、クラウドエンジニアに分かれている。何れも専門知識とスキルを用いて、製品・システム・ソフトウェアを開発・運用する技術者の総称である。

パイロット

—責任感と高い志を持つプロフェッショナル—

パイロットは、飛行機やヘリコプターを操縦する仕事で、安全に目的地へ運ぶことが重要です。また、運航するための責任を敢るため、責任感と、冷静な判断力、優れたコミュニケーション能力が大切だとされています。現在パイロットは約6000人から7000人程度とされており、非常に少なく希少性がとても高い仕事です。

平均年収 42万6000円
平均月収 14万2000円
平均年収 712万円

パイロットになるためには必要とされていることは大きく、健康な身体と責任感です。

身体条件
■視力 1.0以上
■身長 150cm以上
■体重 60kg以下
■聴力
■精神状態の安定
■血圧 心臓

心構え
人の命を預かるといふ責任感と継続的な努力が必要!!!

パイロット新聞

1年2組
成林怜音

～シイタケの植菌教室を行いました～

2月13日（金）、地域の賀茂地方森林組合の方々をお招きし、「シイタケの植菌教室」を開催しました。生徒たちにとって、ドリルで原木に穴を開け、木槌で一つ一つ丁寧にシイタケの種駒（たねこま）を打ち込む作業は、普段の教室では味わえないとても新鮮な体験となりました。シイタケの成長には約2年の歳月が必要だそうです。シイタケの成長とともに子供たちも2年後どのように成長するのでしょうか。楽しみです。



～1年生最後の期末試験におきて～

いよいよ、今年度を締めくくる「後期期末試験」が近づいてきました。この1年間、皆さんは日々の授業や様々な行事を通して大きく成長しました。今回の後期期末試験は、「1年間のまとめ」です。中西選手の講演会でも学んだように、目標に向かって最後まで諦めずに努力を続ける姿勢こそが、2年後進路を考える際に大きな力となります。「勉強がいやだ」、「部活動がしたい」などたくさんの思いがあると思いますが、この試験を乗り越えた先には、また一つ逞しくなった自分が待っているはずです。体調管理には十分に気を付けながら、悔いの残らないよう全力で学習に取り組んでください。